

会 告

◀ 土木学会・その他行事案内 ▶

月 日	行 事	備 考
12月15日(火)	第11回風に関するシンポジウム	12号 4 ページ参照
12月25日(金)	西部支部研究発表会申込締切	12号 8 "
1月18日(月)	海外事情講演会(関西支部)	12号 7 "
"	会員懇親会(関西支部)	12号 8 "
1月20日(水)	土木賞・吉田賞募集締切	10号 綴込 "
1月23日(土)	学生のための映画会(関西支部)	12号 8 "
1月30日(土)	土質ゼミナー(中部支部)	12号 7 "
1月31日(日)	異形鉄筋に関する第2回講演募集締切	12号 1 "
2月12日(金)~13日(土)	第9回水理講演会	12号 5 "
2月13日(土)	河川災害の予知に関するセミナー	12号 5 "
2月25日(木)	中部支部講習会	12号 7 "
そ の 他	土木学会第51回通常総会および第20回 年次学術講演会について 論文集討議欄の新設について 第2回理工学における同位元素研究発表 会	12号 2 " 12号 1 " 12号 6 "

論文集討議欄の新設について

土木学会論文集は昭和37年4月以来月刊となり年間40~50編の論文を掲載しております。委員会では論文集のあり方について種々検討してまいりましたが、会員各位の要望により新たに論文集の中に討議欄を設けることになり、下記要領により原稿を受付けますので多数ご寄稿下さるようお願いいたします。

記

1. 討議は論文集掲載全論文を対象とします。
2. 討議の受付は論文集掲載後6ヵ月以内とします。
3. 討議原稿を提出するときは規定の用紙に必要事項を記入のうえ論文集編集委員会あてご提出下さい。
4. 討議原稿の取扱いは論文集編集委員会にご一任下さい。
5. 討議に関する問合せは論文集編集委員会へご連絡下さい。

異形鉄筋に関する第2回シンポジウム講演募集について

異形鉄筋に関する第2回シンポジウム講演募集を下記により行ないますのでふるってご応募下さるようご案内いたします。

1. 期 日: 1965年4月
2. 場 所: 東京都
3. 講演内容: 異形鉄筋の性質および使用方法に関するもの
4. 申込期限: 1965年1月末日(プログラム作成上期限をご厳守下さい)
5. 申込要領: 講演題目、氏名、所属機関名を記し内容梗概(1000字以内)を付して申込むこと。

ただし、講演題目の選定、その他の細目についてはコンクリート委員会にご一任下さい。

第 51 回通常総会および第 20 回年次学術講演会

昭和 40 年度通常総会（第 51 回）および第 20 回年次学術講演会はつぎの日程により福岡市で開催いたします。年次学術講演会の実施要領はほぼ前回と同様であります。講演申込みおよび原稿提出締切期日が前回より早くなっており、講演原稿の提出先が西部支部となっておりますので、ご注意ください。

総会、懇親会、見学会、講演概要などの申し込み方法は追ってプログラムでお知らせいたします。年次学術講演会で講演希望の方はつぎの要領をご覧の上、1965 年 1 月 15 日（金）までに学術講演会係（福岡市箱崎町九州大学工学部土木工学教室内）直接お申込み下さい。

項 目	月 日	時 刻	場 所
通 常 総 会	1965 年 5 月 28 日（金）	14.00—17.00	明 治 生 命 ホール
総 会 講 演 会	5 月 29 日（土）	9.00—12.00	福 岡 市 民 会 館
年 次 学 術 講 演 会	5 月 29 日（土）	13.00—17.00	九 大 工 学 部 教 室
	5 月 30 日（日）	9.00—17.00	”
懇 親 会	5 月 29 日（土）	18.00—19.30	天 神 ビ ル ホール
見 学 会	A 関門北九州コース	5 月 31 日 発	下 関 解 散 17.00
	B 西九州コース	”	雲仙泊 長崎 ” 14.30
	C 中九州コース	”	内牧泊 別府 ” 17.00
	D 南九州コース	5 月 30 日 夜行	霧島泊 鹿児島 ” 12.30

土木学会第 20 回年次学術講演会実施要領について

I. 学術講演会実施要領

- 講演応募の要領は期日および宛先の点を除いてほぼ例年のとおりとする。
- 研究発表には各部門ともできるかぎり一般報告の方式を採用し、やむを得ない場合にかぎり著者自らによる個人発表の方式を採用する。
- 一般報告の方式では同じ種別の論文数編ずつを、学会の委嘱した一般報告者が総括して報告し、その後に質疑討論を行なう。質疑討論の応答には各著者が自らこれに当る。場合により著者に補足説明をみとめる。
- 一般報告に付する論文は学会で決定し、プログラムに登載する。
- 講演概要の記述にあたっては、一般報告者がその概要にもとづいて報告することを予想して、必ず、それぞれの研究の考え方と結論とをわかりやすく書くこと。
- 個人発表の方式では、講演時間（交代時間を含む）を 10 分とし、数編の講演後にまとめて質疑討論の時間を設ける。
- 講演概要集はあらかじめ参加者に送付する。

II. 学術講演会講演申込要領

- 講演申込方法：講演希望者は申込カード（3 枚複写綴、第 1、第 2 枚目は学術講演係用、第 3 枚目は講演者の控え）に希望部門、題目、スライドの有無、勤務先、会員種別、学位、氏名（連名のときは講演者に○印をつける）、卒業学校名および年次、連絡先を明記の上、必ず 200 字程度の内容梗概を付して、1 月 15 日（金）までに学術講演会係（福岡市箱崎町九州大学工学部土木教室内）へ、直接申込みこと。
- 申込カードは各支部に準備しているから、各自所属支部へ請求すること。
- 講演内容：講演は原則として未発表のもので 1 人 1 題に限る。
- 講演部門：つぎの 4 部門に分ける。なお、都合により希望部門を講演者の了承を得た上で変更することがある。

第 1 部門：応用力学，構造力学，橋梁等

第 2 部門：水理学，水文学，河川，港湾，海岸，発電水力，衛生工学等

第 3 部門：土質力学，基礎工学，土木機械，施工等

第 4 部門：鉄道，道路，コンクリートおよび鉄筋コンクリート，土木材料，都市計画，空港，測量等

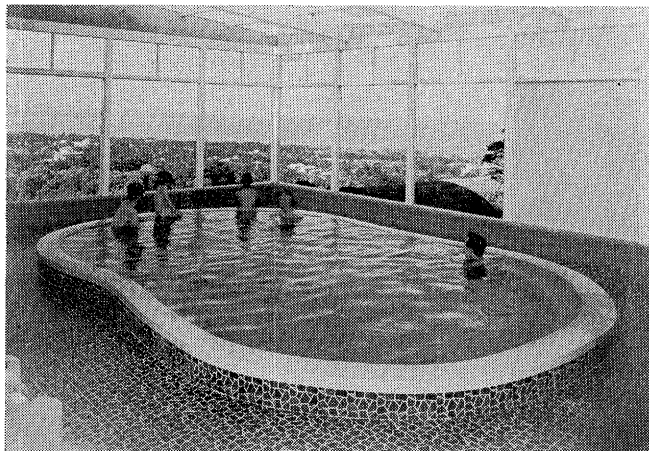
- 5) 原稿提出要領：講演申込者はつぎの要領で講演概要の原稿を提出すること。
- (a) 講演概要は講演者の原稿をそのまま縮写し、オフセット印刷とするから、所定の用紙を使用すること。
 - (b) 用紙は執筆要領とともに申込者に所属支部から渡すから支部へ請求すること。
 - (c) 原稿は 2 月 28 日 (日) までに 学術講演会係 (九州大学工学部土木教室内) に 必着するよう各自直接送ること。
 - (d) 原稿の長さは 1 題目につき 2 ページ (図表, 写真とも) を原則とする。特に超過する場合 (超過は 2 ページまでに限る) は 1 ページにつき 2000 円の製版料を申受ける。
 - (e) 講演概要集：講演者 (○印) にはその部門の概要集を無料で 1 部送付するが、一般は有料とする。別刷は講演者 (○印) には 20 部を無料, 20 部を越える分は実費でわかるから, 申込みカードに超過分の希望部数を記入すること。

III. 質疑討論の申込要領

- 1) 質疑討論を行なうことを希望するものは 所定の期日 (5 月 10 日) までに, 原則として指定の質問券 (3 枚複写綴, 第 1, 第 2 枚目は学術講演会係用, 第 3 枚目は質問者の控え) によって学術講演会係 (福岡市箱崎町九州大学工学部土木教室内) に申込みこと。
- 2) 質問券は概要集とともに参加者に送付する。
- 3) 申込みされた質疑討論の内容はあらかじめ各著者に回付する。
- 4) 時間に余裕がある場合にかぎり, 期限以後到着の質問カードおよび講演会場での質疑討論の申込みを受け付ける。

備考:

- (a) 講演題目および著者名等の申込締切期日 (福岡市箱崎町九州大学工学部土木教室内学術講演会係宛)
1965 年 1 月 15 日 (金) (期限厳守)
- (b) 講演概要の提出締切期日 (同上 学術講演会係宛)
1965 年 2 月 28 日 (日) (期限厳守)
- (c) 講演概要集の購入申込締切期日 (同上 学術講演会係宛)
1965 年 4 月 15 日 (木) (期限厳守) (事前発送の場合)
- (d) 質疑討論の申込締切期日 (同上 学術講演会係宛)
1965 年 5 月 10 日 (月)
- (e) 講演会の実施日時: 1965 年 5 月 29 日 (土) 13 時~17 時
5 月 30 日 (日) 9 時~17 時
実施場所: 九州大学
- (f) プログラムの発送期日: 1965 年 3 月下旬の見込



展望温泉 (別府市)

泉都別府。九州を背にして豊後水道、瀬戸内海を隔て、四国、山陽、関西を指呼する……とは過言としても展望温泉から鏡のような別府湾の望景はそれに近いものを感じる。

<大分県提供>

岩の力学国内シンポジウム (1964) 講演集頒布について

去る 11 月 11 日, 12 日の 2 日間毎日ホールにおいて開催した標記シンポジウムは非常に好評をもって, 盛会のうちを終了いたしました, この時の講演集につきまだ残部が多少ございますので必要の方は, 代金を添えてお申込み下さればお送りいたします

価 格: 1200 円 (送料 100 円)

体 裁: A4 判 オフセット印刷 170 ページ

申込先: 東京都中央区銀座西 8-7 日本鉱業会宛 TEL (572) 5091

第 11 回風に関するシンポジウム開催について

1. 期 日: 1964 年 12 日 15 日 (火)
2. 会 場: 気象庁講堂 (東京都千代田区大手町 1 の 7)
3. 共 催: 日本海洋学会・日本気象学会・日本建築学会・日本航空学会・地震学会・日本地理学会・日本農業気象学会・日本林学会・(幹事学会) 土木学会
4. プログラム:

9.30~9.40	開会のことば	
9.40~9.55	(1) 山本・パノフスキー方程式への放射補正	気象大 岡本 雅 典
9.55~10.10	(2) 移流による気象要素の変化と地表面粗度の影響	気象庁 竹内清秀・○伊藤昭三
10.10~10.25	(3) 突風率と種々の因子との関係	電力中研 日 野 幹 雄
10.25~10.40	(4) 風波のスペクトル・フェッチグラフ・摩擦係数	電力中研 日 野 幹 雄
10.40~10.55	(5) 波の上での風の観測結果について 防災センター 岩田憲幸・東大○竹田 厚・気象研 大塚 伸・海上電機 小堀泰宏・電子工業 清水幹二	
10.55~11.10	(6) 超音波風速温度計について	京大防災研 光田 寧
11.10~11.25	(7) 簡単なリニアライズされた熱線風速計	お茶の水女子大○坂上治郎・望月昌子・安藤三千代・野崎樞子
11.25~11.40	(8) 散在樹木群の防風林の効果	農業技研 井 上 栄 一
11.40~11.55	(9) 気象庁の新風洞*	気象庁 清水逸郎・岩瀬昭吾・秋山泰三・星 一男
11.55~13.00	昼食休憩 (* 気象庁新風洞の見学を行ないます)	
13.00~13.15	(10) 朝霞射場の気流調整について	朝霞射場気流調査グループ
13.15~13.30	(11) 中部日本における冬の局地的風系について	気象庁 河 村 武
13.30~13.45	(12) 都市気温の分布と風との関係についての一考察	三重大 水 越 允 治
13.45~14.00	(13) ヨーロッパの風車の地理	教育大 吉 野 正 敏
14.00~14.15	(14) 山越気流の研究 (第 8 報)——変態フェーン——	気象大 ○鈴木清太郎・大阪府大 矢吹万寿
14.15~14.30	(15) 振動する角柱のまわりの風の流れ	京大防災研 許 昌 九
14.30~14.45	(16) 二つの円筒の風による振動について	大阪市大 川 村 純 夫
14.45~15.00	(17) 高さ方向風速分布に関する一考察	京大防災研 石 崎 滉 雄
15.00~15.10	休 憩	
15.10~15.40	(特別講演 1) 米国における二, 三の大気乱流の研究について	お茶の水女子大 坂 上 治 郎
15.40~16.10	(特別講演 2) 最近の非線型対流理論	東大海洋研 小 倉 義 光
16.10~16.40	(特別講演 3) 鉄道と風	国鉄技研 塩 谷 正 雄
16.40~16.50	閉会のことば	

- 注 1. 一般講演の講演時間は一講演討議を含み 15 分とする
 2. 特別講演の講演時間は一講演討議を含み 30 分とする。
 3. 講演集は印刷しない。

国際溶接学会 1965 年度年次大会について

国際溶接学会 (International Institute of Welding) の 1965 年度年次大会がつぎのとおり行なわれます。プログラムをご希望の方は学会へご連絡下さい。

日 時: 1965 年 7 月 4 日~10 日

第9回 水理講演会

1. 日 時：1965年2月12日(金), 13日(土)
2. 会 場：土木学会・土木図書館講堂(東京都新宿区四谷1丁目, 電話 351-5138)
3. 課 題：(A) 開水路の不定流
(B) 水理構造物に関する流れの問題
(C) その他(自由)

プ ロ グ ラ ム

2月12日(金)

- | | | | |
|-------------------|-------------------------|------------|--------------------|
| 10.00~10.10 | 開会挨拶 | 水理委員会委員長 | 石原 藤次郎 |
| 10.10~10.30 (A-1) | 段波の遷移過程に関する実験的研究 | 大阪大学工学部 | 室田 明 ○渡辺 泰清 |
| 10.30~10.50 (A-2) | 変断面水路内の洪水の伝播と変形 | 中央大学工学部 | 林 泰造 |
| 10.50~11.10 (A-3) | 境界条件による洪水流の変形に関する研究 | 京大防災研 矢野勝正 | ○芦田和男 京都大学工学部 高橋 保 |
| 11.10~11.55 | (A-1)~(A-3) の討議 (45 分間) | | |

昼 食 ・ 休 憩 (11.55~13.20)

- | | | | |
|-------------------|-------------------------|---------|------------------|
| 13.20~13.40 (B-1) | 水中におかれたゲートの振動解析 | 東京大学工学部 | 嶋 祐之 ○荻原 国宏 |
| 13.40~14.00 (B-2) | 大きなレイノルズ数域での円柱の水力弾性振動 | 電力中研 | 日野 幹雄 |
| 14.00~14.20 (B-3) | 底部取水工上の開水路流れの特性について | 京都大学工学部 | 岩佐義朗 京大防災研 ○中川博次 |
| 14.20~15.05 | (B-1)~(B-3) の討議 (45 分間) | | |

休 憩

- | | | | |
|-------------------|------------------------------|---------|-------------|
| 15.20~15.40 (B-4) | 水叩き下流側の洗掘過程と流れの変動機構に関する実験的研究 | 大阪大学工学部 | 岡 世 輝 |
| 15.40~16.00 (B-5) | 砂礫が流下するダム エプロンの洗掘について | 電力中研 | 岡田 篤也 ○石橋 毅 |
| 16.00~16.20 (B-6) | フリップバケット型水叩き下流洗掘の実態調査 | 電力中研 | 中 村 宏 |
| 16.20~17.05 | (B-4)~(B-6) の討議 (45 分間) | | |

2月13日(土)

- | | | | |
|-------------------|----------------------------|--------|--------------|
| 10.00~10.15 (C-1) | 開水路湾曲部河床の安定形状 | 土木研究所 | 須賀 堯三 |
| 10.15~10.30 (C-2) | 開水路の非定常拡散の研究 | 東京大学 | 椎 貝 博 美 |
| 10.30~10.45 (C-3) | モンテカルロ法による乱流拡散の2, 3の計算について | 電力中研 | 日野 幹雄 |
| 10.45~11.00 | (C-1)~(C-3) の討議 (15 分間) | | |
| 11.00~11.15 (C-4) | 非定常揚水試験から透水係数を求める一方法 | 千葉県開発局 | ○三宅 康夫 池田 達哉 |
| 11.15~11.30 (C-5) | サージタンクの振動特性を改良する諸方法について(1) | 九州電力 | 村 瀬 次 男 |
| 11.30~11.45 (C-6) | 低水流量推定の一方法 | 近畿地建 | 西 原 巧 |
| 11.45~12.00 | (C-4)~(C-6) の討議 (15 分間) | | |

昼 食 ・ 休 憩 (12.00~13.00)

- | | |
|-------------|---------------------|
| 13.00~17.00 | 河川災害の予知に関するセミナー(別掲) |
|-------------|---------------------|

河川災害の予知に関するセミナー

災害科学総合研究班河川専門分科会主催, 土木学会水理委員会後援のもとに, 河川災害の予知に関するセミナーを下記のとおり開催いたします。ふるってご参加下さい。

1. 日 時：1965年2月13日(土) 13.00~17.00
2. 会 場：土木学会・土木図書館講堂
3. 次 第：

13.00~13.15	換 拶	河川専門分科会主任	石原 藤次郎
13.15~14.30	第1課題「洪水流出の予知」	話題提供者	北大工学部 岸 力
14.30~15.45	第2課題「土砂崩壊・流出の予知」	〃	京大防災研 矢野 勝正
15.45~17.00	第3課題「堤内地洪水災害の予知」	〃	早大理工学部 米元 卓介
4. 目 標 ・ 内 容：現用の予知法の精度, 余裕時間および将来可能性のある具体案, ならびにそれに必要な観測・研究の方向
5. 提案予定の方は, 原稿を本年12月末日までに, 京都大学防災研究所 石原安雄氏宛 ご提出下さい。印刷のうえ, 当日参加者に配布いたします。

第2回 理工学における同位元素研究発表会

— 論 文 募 集 —

このたび、関係諸学協会の共同主催で、標記の研究発表会を開催することになりました。この研究発表会の目的は、異なった専門分野の研究者が一堂に会し、同位元素および放射線の利用の技術を中心とした研究およびその技術の基礎となる研究の発表と討論を行ない、各専門分野間の知識と技術の交流を図ろうとするものでありますので、ふらってご応募、ご参加下さることを希望いたします。

会 期：1965年4月20日(火)～22日(木)の予定

会 場：東京大学

共同主催者：関係43学協会

発表論文：

- (1) 内 容：それぞれの研究分野において、その専門的成果を得るにいたった同位元素および放射線の利用の技術に重点をおいた論文と、同位元素、放射線の利用の基礎となる研究論文とします。なお、得られた専門的成果の報告も差しつかえありません。

研究の内容には、少なくとも一部に未発表の部分が含まれていることを必要とします。

- (2) 発表申込区分：プログラム編成の便宜上、つぎのように申込区分を設けます。

- ① 放射性同位元素による放射線照射に関するもの(線源および装置に関するものを含む)
- ② 放射性同位元素以外の放射線発生装置による放射線照射に関するもの(装置に関するものを含む)
- ③ ラジオ グラフイに関するもの(装置に関するものを含む)
- ④ オートラジオ グラフイに関するもの
- ⑤ 放射線利用計測機器の利用と開発に関するもの
- ⑥ トレーザ的利用に関するもの(安定同位元素も含む)
- ⑦ 分析に関するもの(安定同位元素も含む)
- ⑧ 放射性同位元素製造、分離、精製に関するもの
- ⑨ 化合物の合成、標識化に関するもの(安定同位元素も含む)
- ⑩ 放射線測定法および測定器に関するもの
- ⑪ 放射線の遮蔽、施設、設備など安全取扱いに関するもの
- ⑫ 廃棄物処理、汚染除去に関するもの
- ⑬ 保健、健康管理に関するもの
- ⑭ その他

- (3) 発表時間：1件の発表15分以内の予定

発表者の資格：発表申込者が所属する主催学協会の年会(大会)等の規定または慣例にしたがう。

発表申込所定の申込書(1件1通)によりお申し込み下さい。所定の申込書は下記あて請求して下さい。

東京都文京区駒込上富士前町31番地(理研内)日本放射性同位元素協会内
理工学における同位元素研究発表会運営委員会 電話 東京 946 7111 番(代表)

発表申込締切：1965年1月30日(土)必着

講演要旨：講演要旨集を発行します。発表申込みがあり次第所定の原稿用紙(1200字程度)をお送りします。

講演要旨原稿締切：1965年2月27日(土)必着

そ の 他：

- (1) この研究発表会の運営は、主催学協会より選出された各1名の委員で構成された運営委員会において行ないます。
- (2) フルペーパーの報文集は特に発行しません。

なお、日本放射性同位元素協会の学術機関誌“Radioisotopes”にはこの研究発表会の発表論文にかぎり、同協会会員外でも投稿することができます。

- (3) つぎのいずれかに該当する場合には発表をお断りしますから、ご注意下さい。
 - i) 講演要旨に記述された内容が本研究発表会の趣旨に合致すると認められない場合。
 - ii) 発表者の資格が、所属主催学・協会の規定または慣例に合致しない場合。
 - iii) 前日までに講演要旨原稿が提出されなかった場合。

中 部 支 部 行 事 案 内

(名古屋市中区南外堀町 6 の 1 ・名古屋土木局道路建設課内・電 名古屋 94-5511)

(1) 土 質 ゼ ミ ナ ー

1. 日 時: 1965 年 1 月 30 日 (土) 9.30~17.00

2. 場 所: 名古屋市中区御幸本町 愛知県産業貿易館

3. 題目・講師

9.30~10.40	濃尾平野南部地盤構成と地下水について	名古屋大学	松 沢 敷
10.40~11.40	土壌処理における機械力と化学力	東京大学生産技術研究所	野 崎 弘
昼 食 ・ 休 憩			
12.40~13.40	土質安定工法について	京都大学	松 尾 新一郎
13.40~14.40	粘土表面の性質と構造	早稲田大学	加 藤 忠 蔵
14.50~15.50	泥水工法について	KK大林組	福 住 隆 二
15.50~16.50	注入による地盤安定法の効果確認の方法の結果	名古屋市交通局	高 見 敬 一

共 催: 電気化学協会中部支部土質委員会・日本材料学会土質安定材料委員会・日本材料学会中部学会

協 賛: 土木学会中部支部・土質工学会・窯業学会・日本化学学会東海支部・東海化学会

(2) 講 習 会 ・ 水 理 公 式 集 の 解 説

1. 日 時: 1965 年 2 月 25 日 (木)

2. 場 所: 名古屋市中区武平町・愛知県文化会館第一集会室 (市電・地下鉄ともに栄町下車 100 m 公園道路東側)

3. 題目・講師:

9.45~10.00	支部長あいさつ	土木学会中部支部長	井 上 幸太郎
10.00~12.00	水理公式集の例題による解説	京都大学	岩 佐 義 朗 ・ 京 都 大 学 合 田 健
13.00~16.30	水理公式集の例題による解説	名古屋工業大学	細 井 正 延 ・ 名 古 屋 大 学 足 立 昭 平

3. 教 材: 水理公式集の解説と例題

4. 受 講 費: 300 円 (会員および非会員共)

5. 参加予定人員: 約 150 名

6. 申 込 方 法: 1965 年 2 月 15 日までに土木学会中部支部へ氏名・勤務先を適宜の用紙に記入して会費をそえてお申込み下さい。申込期日までに会費の間に合わない場合は当日会場でも受け付けます。

7. 共 催: 土木学会関西支部

関 西 支 部 行 事 案 内

(大阪市天王寺区堀越町 110 番地 天王寺ステーション ビル 4 階)
電 大阪 (716) 7881 番 内線 336 番, 振替口座大阪 82599 番)

(1) 海 外 事 情 講 演 会

1. 日 時: 1965 年 1 月 18 日 (月) 14 時 30 分~16 時 20 分

2. 場 所: 好文倶楽部 電 大阪 (361) 1261

大阪市北区梅田 2 第一生命ビル 12 階 国鉄大阪駅前

3. 題目と講師:

① 長大つり橋について	神戸市土木局長	山 崎 博
② フランスの橋梁事情	大阪大学教授	安 宅 勝
③ アメリカおよびイギリスのつり橋	京都大学教授	小 西 一 郎
④ ヨーロッパの土木事情	大阪府土木部長	友 田 清 三

4. 参 加 費: 無料, 来聴歓迎

この講演会終了後別掲のとおり会員懇親会を催しますから多数ご参加下さい。

(2) 会員懇親会

1. 日 時：1965 年 1 月 18 日（月）17 時よりの予定（海外事情講演会終了後）
2. 場 所：好文倶楽部 電 大阪（361）1261
大阪市北区梅田 2 第一生命ビル 12 階 国鉄大阪駅前
3. 参 加 費：500 円
4. 申 込 期 限：1965 年 1 月 11 日（月）
5. 申 込 方 法：参加希望者は勤務先，連絡先および氏名を明記のうえ参加費 500 円を添えて 1 月 11 日（月）までに土木学会関西支部へお申し込み下さい。参加証をお送りします。

(3) 学生のための映画会（第 8 回）

1. 日 時：1965 年 1 月 23 日（土）14.00 より
2. 場 所：京都大学土木総合館 201 号室 電 京都（77）8111
京都市左京区吉田本町 市電 百万遍下車
3. 上 映 映 画：建設の機械化道路編（30 分），建設機械化埋立編（25 分），軌間拡幅工事（40 分），新生駒隧道（30 分）
4. 定 員：150 名
5. 参 加 費：無料，正会員の方の参加も歓迎します。

西 部 支 部 行 事 案 内

（福岡市渡辺通り 2 丁目 九州電力KK土木部内 電・福岡 76—3031）

西部支部研究発表会および総会（昭和 39 年度）

1. 開 催 日 時：1965 年 1 月 27 日（水） 9.00～17.00
2. 開 催 場 所：福岡市中島町 明治生命ビル
3. 講 演 時 間：1 題につき 20 分（質問時間をふくむ）
4. 原稿提出要領：
 1. 原稿はオフセット印刷にしますから，発表申込者には支部から原稿用紙を送ります。
 2. 原稿用紙は 40×37=1 480 字詰，1 題 4 ページまでとし超過分は 1 ページにつき 2 000 円申受けます。
 3. 原稿締切は 12 月 25 日までに支部に必着するよう提出して下さい。
 4. 増刷は 20 部さしあげます。以上入用の方はその旨原稿送付の際付記して下さい実費を申受けます。
5. 総 会 開 催：来年 5 月開催の土木学会大会準備などのため本年度総会を上記研究発表会終了後開催します。
本会誌発表をもって総合案内といたしますので会員多数ご出席下さい。
6. 連 絡 先：福岡市渡辺通 2 九州電力土木部内 電話（76）3031

昭和 39 年度土木賞・吉田賞候補募集について

昭和 39 年度土木賞・吉田賞および吉田研究奨励金候補の募集要項は本誌 10 月号級込でお知らせしましたので，同募集要項をご参照のうえ多数推薦または応募されますよう希望いたします。

なお，推薦または応募に必要な関係書類は土木学会本部および各支部に準備してありますから，請求して必ずその用紙を使用して下さい。

各支部所在地：本誌 134 ページ参照
締 切 期 日：1965 年 1 月 20 日
提 出 先：東京都新宿区四谷 1 丁目 土木学会